



同窓会のお知らせ

つゝじヶ丘同窓会

「第59回札幌支部総会&懇親会」

2024年6月29日(土)

17:00～

於「ネストホテル札幌駅前」

函西さぽる

第20号
2024年5月1日

発行数：2000部
編集長：堀田正英
事務所：
〒001-0045
札幌市北区麻生町
9丁目2番1-1103号



札幌支部の活動状況について

札幌支部長 竹林 進(17回生)

新型コロナウイルスの感染
症法上、5類に移行してから
1年以上が過ぎました。終息
ではないものの4年ぶりに規
制のない令和6年の正月を迎
えることができました。

現状では、スーパーマーケッ
トや交通機関など人が集まる
場所では、未だにマスクをし
ている人が多く見受けられま
す。私は、少しでもコロナ前
の当たりまえにあった日常の
生活を取り戻したいと思っ
ています。

昨年、札幌支部では、約4
年ぶりに札幌支部の「総会と
懇親会」を開催し、出席者は
35名でした。

ご来賓として、函館西高等
学校から古御堂徹校長先生、
つゝじヶ丘同窓会から渡辺俊
二会長、東京支部から折田信
一会長に出席していただきま
した。
懇親会では恒例となりまし

た「ビンゴゲーム」を行い、
読み上げる数字が出るたびに
一喜一憂し会場は盛り上がり
ました。校歌斉唱は高等女学
校、西高等学校の校歌(統合
前の平成31年3月末まで)を
合唱しました。また、応援団
のパフォーマンスに合わせ

「応援歌NO.2」を高らかに歌
いました。各テーブル席では
学生時代の思い出話に花を咲
かせ、お互いの近況などを語
り合いながら久しぶりに楽し
い時間を過ごしました。

二次会で私は、古御堂校長
先生、渡辺会長、折田会長と
ご一緒させていただきました。
宴会場所は同窓生が経営して
いる「すすきの」の居酒屋で、
にぎやかに夜遅くまで語り合
いました。

と懇親会」の開催に向けての
運営方法や今後の日程調整な
どを確認しました。そのあと
近くの居酒屋で新年会を開き
14名が参加しました。

令和6年度は、4月23日
(火)に第1回役員会を予定
しています。役員会では、
「総会と懇親会」の案内、会
報等の封筒詰め作業と6月29
日(土)の「総会と懇親会」
の開催に向けての話し合いを
行うことにしています。今年
は少しでも多くの同窓生の参
加をお待ちしています。

「令和6年度の役員体制に
ついて」

今年度、新しく役員体制が
変わりました。長年、相談役
の白畑力さん(6回生)が令
和6年3月末をもちまして退
任することになりました。札
幌支部では、設立当初の経緯
打ち合わせ記録などが書いて
ある大学ノートがあります。

それには平成15年ころから白
畑さんの名前があり支部を支
えていただいたことが記入さ
れています。いままでも長い間
相談役として支部を見守って
いただきありがとうございます。

また、令和5年度まで副支
部長として3期、6年間活躍

していただきました戸根谷法
雄さん(21回生)が札幌支部
の会則(任期)に従い退任す
ることになりました。戸根谷
さんは私が会報の編集長をし
ていた時に、会報の原稿や札
幌支部の50周年記念誌に掲載
する写真などを提供していた
だき紙面を補完するのに助け
られました。これからも役員
としてよろしく願います。

◆ 令和6年元日、能登半島地
震により一瞬にして日常が奪
われた光景に心痛むばかりで
す。

地震で亡くなられた方のご
冥福をお祈りするとともに、
被災された方々に心からお見
舞い申し上げます。日常の暮
らしが少しでも取り戻せるよ
うに被災地域の日も早い復
興をお祈りいたします。



令和5年10月8日西高前で撮影(つゝじヶ丘同窓会の翌朝)

ご存知ですか？

「成年後見制度」

今川かおる（23回生）

「後見人さんへ相談があります。近いうちに来ていただけないか？」

私の「被後見人」Aさんの住むグループホームの施設長から、そんな電話がありました。3年ほど前からそこへ入居していたところ、閉鎖が決まり転居先が懸案になっていたので。幸いにも系列の特別養護老人ホームの数か所に空きが出たので、どの施設にしますかという相談でした。

Aさんは90歳の女性です。道北の町で生まれ、結婚・出産、長く暮らしていましたが夫の死去を機に、札幌に住む独身の娘さんと同居するため転居してきました。ところが娘さんには心臓に持病があり、次第に悪化していったのです。



認知症はあっても体は元気な母親より、自分のほうが先に死んでしまうのではないか。そう心配になった娘さんが家庭裁判所へ、成年後見人開始の申し立てをしました。家庭

裁判所では、ご本人の心身の状態、親族関係や財政状況などを元に、後見人を選任しました。

ところで、私は成年後見人を引き受けるまで、Aさんをまったく知りませんでした。そんな私が関わるようになってしたのはこんな事情です。私は現在、札幌家庭裁判所の「家事調停委員」という仕事をしています、その関連の任意団体「札幌後見支援の会」の会員にもなっています。この会には親族や専門職が難しい場合の後見人の受け皿になると、先輩調停委員の方たちが21年前に設立しました。市町村等が実施する養成研修を受けた「市民後見人」という同じような役割の方たちもいますが、その先駆的存在だと思います。

Aさんの場合、頼れる親族は他にいない、収入は年金だけで預貯金はほとんどなく、弁護士や司法書士など専門職は難しい。そんなケースのため、会員である私が引き受けることになったのです。

後見人の仕事は大きく二つあります。「身上保護」と「財産管理」です。

「身上保護」とは、Aさんの場合で言えば、介護保険や後期高齢者医療保険など療養に必要な各種手続き、住まいを確保するための施設との契約、時折訪問して本人の様子や生活状況を確認したり、場合によっては消耗品などを買い揃えたり。安心して暮らすために配慮する仕事です。

「財産管理」は、年金など月々の収入を把握して、現金や預貯金通帳を管理します。必要な経費の支払いを行いながら、経済的に困窮しないよう努めることも大切です。本人に代わって、生活保護や助成金申請を行うこともあります。家庭裁判所の許可を得たら、不動産を処分したり、高額の買い物をしたりすることもできます。ただし、親族ではないので、医療行為の同意などはできません。

後見人は金銭管理へ細心の注意を求められるのは勿論ですが、生活状況や資産について定期的に家庭裁判所へ報告し、監督を受けることになっています。報酬を受け取ることもできます。その金額は家庭裁判所が決定し、資力があれば、本人の預貯金から支払います。余裕がない人の場合、一定の基準のもと、自治体が支給する制度もあります。

このように、「被後見人」になると権利を制限されることとなりますから、申し立てがあっても後見人が選任されるかどうか、誰を選任するかは家庭裁判所が審査し決定するわけです。

「成年後見」には本人の判断能力の程度に応じて、権限がやや少ない「保佐」や「補助」もあります。これらは「法定後見」と呼ばれます。一方、将来、認知症などで判断力が低下した時のために、あらかじめ本人が自分で後見人を決めておくこともできます。「任意後見」という制度です。



ところで、この成年後見制度、1999年の民法改正（2000年4月施行）で始まった新しい制度です。それまでの「禁治産・準禁治産制度」がこの年、名称だけでなく内容の一部も変更されました。

そのせいもあって、残念ながらまだ認知度は低いようです。しかし、団塊の世代が認

知症予備軍として大勢待ち受け、後見人の必要性がさらに高まってくるのが予想されます。

そこで国は2016年5月に「成年後見制度の利用促進に関する法律」を施行しました。後見制度の充実や普及に向け、自治体の取り組みを促しています。後押しされた全国の自治体、札幌市も、制度の広報・相談や利用促進に力を入れ始めているところです。成年後見制度。記憶のポケットに入れておくと、役に立つことがあるかもしれません。

もっと詳しいことを知りたい、相談したいという方は「札幌市成年後見推進センター」（電話011-624-6901）をご利用ください。

*個人情報への配慮から、Aさんの事情は一部変更して書いています。



「函館の地獄坂」

竹林 進（17回生）

「地獄坂」と謂われている坂は、小樽市、仙台市、東京都、浜松市、那覇市など全国各地にある。

函館の「地獄坂」は、「外人墓地（外国人墓地）」のある船見町と入船町（旧・山背泊町）にまたがっている。

「地獄坂」の由来は様々であるが、道路の勾配があまりにも急で、人が坂を上るのも下るのも辛くて難儀するとか坂の雰囲気は薄暗く気味が悪いとか、全般的にあまり良くないイメージがつきまとう。

私は中学2年のころ「読売新聞」の朝刊を配達していた。

配達ルートは、「弥生坂」の上から山裾を廻り、船見町の寺町（東本願寺別院、實行寺、称名寺、高龍寺など）を経て「外人墓地」のある山側の方まで行き、そこから折り返す。戻りは「外人墓地」と「地獄坂」の間の道を通り抜ける。

「地獄坂」まで来ると山背泊の屋並や海が間近に見え、配達がそろそろ終わりに近づく。ただ雨降りや薄暗い日に

「外人墓地」の前を通る時は、背後から何か迫ってくるよう



令和5年6月末、札幌支部の「総会と懇親会」が終わったあと、しばらくぶりに函館へ行くことにした。その時に以前から考えていた、「地獄坂」を見たいと思っていた。この坂を最後に見てからは、もう60年も前のことになる。しばらくぶりの対面に、懐かしい気持ちと何か期待感のよ

すぐ行くと商店に突き当たる。そこで道路は左と右の二股に分かれるが、右の海側の道路をまっすぐに進む。すぐに見覚えのある中国人墓地のある赤茶けたレンガ塀、その向かいにはロシア人墓地が見える。そのまま左側にある地藏寺の前を過ぎると、外国人墓地群の一つ「シャトル聖パウロ修道女会墓地」がある。その墓地の道路を挟んで向かいの崖面に切れ込むように落ち込んでいるのが「地獄坂」である。



坂の傍には白い看板が建てられていて、この付近一帯は昭和48年2月に北海道により告示された「函館山背泊1地区急傾斜地崩壊危険区域」に指定と書いてあった。要するに「この辺一帯は急斜面でがけ崩れなどが起きやすい危険な場所」ということらしい。私が記憶している「地獄坂」は石ころだらけのでこぼこ道で、道路延長は100メートルにも満たない、幅が狭い3.0メートルくらいの急こう配の道路である。道路の海側は急な崖で、崖下に民家の屋根が見える。もし人や馬車が間違っ



踏み外すと、この崖下の民家に向かって真っ逆さまに転がり落ちていく。だから当時は自分なりに怖い「地獄坂」の名前に納得していた。ところが、しばらくぶりに再会した「地獄坂」の第一印象は「あれ、こんなに狭い道路だったわけ？場所間違ったかな・・・？」辺りをキョロキョロ見廻しながら一瞬戸惑ってしまった。



2023年支部総会&懇親会



令和5年6月24日 令和5年度 つづじヶ丘同窓会札幌支部 総会&懇親会 於 ネストホテル札幌駅前

北海道庁立函館高等学校 校歌
武蔵 又郎 作詞
工藤 富太郎 作曲

一、巴の港朝夕に
出で入る船の帆柱の
しげき学問のかづかづは
世の海わたるみをつくし
教訓のまにまに難苦にたてて
誠實あつき女子とならむ

二、春は湯の川リリー摘み
秋は大河舟遊び
冬は四方山白雪の
玉もて飾る銀世界
自然の靈気を身にうけて
清き操の女子とならむ

北海道函館西園高等学校 校歌
根上 義雄 作詞
根上 義雄 作曲

一、春は弥生の星明りて
つづじヶ丘に花吹雪
流るる空の雲はほくほく
向学の友群れここに
集まり ああ愛 われら若
自由の鐘の音 窓に鳴れば
情熱をたもてて 共に立てよ

二、北の港の丘のもと
巴の海に新潮の
碑をめぐる声はひびく
向学の友群れここに
集まり ああ愛 われら若
希望は生まれて 胸にみえて
大志をいだいて 共に立てよ

三、秋は臥牛の松の風
栄枯の夢をうたよしも
北斗の影は天にかかる
向学の友群れここに
集まり ああ愛 われら若
瞳は澄みすすむに
真理を求めて 共に立てよ

北海道函館西園高等学校 校歌
作詞 植野隆生
作曲 津田正之 (国立音楽学校)

一、たぐさの丘 ここに集まり
響く足音 教壇の鐘
この坂から 冒険をゆめよう
大切な毎日を 忘れないで
一歩ずつ 登って行く
思い出がきこえる時に
思い出がきこえる時に
ともに立ちよ 海を見よう

二、五稜の北の 大空に
照しけく 臥牛の山
この坂から 冒険をゆめよう
大切な毎日を 忘れないで
一歩ずつ 登って行く
思い出がきこえる時に
思い出がきこえる時に
ともに立ちよ 海を見よう

三、この坂から 冒険をゆめよう
大切な毎日を 忘れないで
一歩ずつ 登って行く
思い出がきこえる時に
思い出がきこえる時に
ともに立ちよ 海を見よう

～2023年に寄せられたメッセージ～ (敬称略)

出席者からのメッセージ

- 長谷川洋一 (西2) 1952年(?)初めて札幌同窓会に出席したのを思い出します。幹事の皆さま御苦労様です。
堀 由香子 (西4) 三年ぶりの支部総会&懇親会の開催を嬉しく存じます。お目にかかれることを幸に思っております。
齊藤 征康 (西6) 御世話になります。幹事の皆様御苦労様です。
加藤 聖子 (西6) 初夏らしいさわやかな時期の開催、楽しみにしております。
福島 正剛 (西21) 総会&懇親会に出席します。
小山 聖以 (西25) 役員の方々、いつもありがとうございます。
吉江 隼 (西37) 校章クッキーが食べられる！懇親会、楽しみにしております。
(西41) よろしく願います。

欠席者からのメッセージ

- 山崎 滋樹 (西2) 楽しい同窓会を。
郡司 敏子 (西2) 歳月と共に益々ご清祥にご活躍のことお喜び申し上げます。高令になり同窓会欠席、御盛會お祝いいたします。
宮本 順也 (西5) ご案内ありがとうございます。
亀井千草子 (西6) 都合悪く欠席します。毎日楽しいことを考えノキに生活して居ます。
中村 紀子 (西6) 色々と係の方御苦労様です。年令相応ですが元気になっております。
藤谷 幸夫 (西6) 会長や幹事の皆様何時も有難うございます。当日他の予定が色々重なりましたので欠席致します。益々のご盛會をお祈り申し上げます。
白畑 力 (西6) コロナ禍もやっと過ぎたと思います。久しぶりの総会おめでとうございます。出席できず残念です。
小野寺直樹 (西9) いつもお世話になり厚くお礼申し上げます。
竹内 慶夫 (西9) 御盛會をお祈りいたします。
田上 新三 (西12) コロナ禍も自己管理となりましたが、まだまだ安心できませんね。今回も総会、懇親会に出席できませんが、出席の皆様のご健勝を祈念しております。
前田 和子 (西12) 市長も若返り、函館の活性化を願っています。昔のような活気のある町に。
岡本 修二 (西14) 会報ありがとうございます。
渡辺 功 (西14) 楽しんでくださいね。
林 元義 (西14) 第58回総会&懇親会が盛會でありますよう祈っています。
荒明 洋 (西15) 支部会報ありがとうございます。内容充実、たのしく、感心したりうれしい限りです。次号を楽しみにしております。
西谷 博明 (西15) ご盛會を祈念しております。
澤野 一彦 (西16) 所用があり今回は出席できません。皆様によろしく。
福島 順子 (西17) 盛會を祈ります。
菊地 裕 (西17) 今年は後期高齢者のお仲間になっていただきましたが、働いています。勤務のため、出席できません。幹事の皆様ご苦労様です。
原田 明 (西18) 欠席させていただきます。フリスビーを含んで支払います。
若林 恭子 (西18) 残念ですが都合がつかず欠席致します。盛會をお祈り致します。会報を楽しみ読ませていただきました。
笠島 和則 (西18) 欠席します。
河島 秀治 (西19) 所用で出席出来ず残念、皆様に宜しく！
増田 恭子 (西19) 大変遅くなりました。いつもありがとうございます。
佐藤 武志 (西20) 残念ですが今年も出席できません。皆さん、元気？
三上 悦彦 (西20) 会報の同期(20回生)の寄稿を読んで、授業中に新任の小橋先生を泣かせた悪童に一人だったことを思い出しました。
山吹 珠江 (西21) 今回は欠席させていただきますがつづじヶ丘同窓会札幌支部の会員の皆様のご健康をお祈り致します。今年は2・3度函館へ桜見学など行けてます。
平久保 高 (西22) いつも会報ありがとうございます。
佐藤 隆保 (西26) 総会は欠席しますが、会の発展を祈念いたします。
南部久留美 (西26) ご案内ありがとうございます。家に要介護5の病人がいます。同窓会のご盛會をお祈りいたします。
田中 剛史 (西29) 会報(第19号)に「1枚の絵」を掲載していただき、それを読んだ先輩の姉から暖かい手紙が届き感激しました。
小池 真美 (西31) 既に予定が入っており、今回は失礼致します。いつもありがとうございます。
石岡 浩二 (西34) 同じ坂を登り、同じ景色を見て青春を過ごした先輩、後輩と集えるこの会を大切に思っています。

～会報原稿募集～

札幌支部では同窓生からの投稿をお待ちしております。エッセイ・旅行記・俳句・詩歌・写真など形式や内容は問いません。支部HPおよび事務所宛までご連絡下さい。
謝礼に図書カードを呈呈致します。

【編集後記】



昨年の札幌支部総会&懇親会は、コロナ禍で中止となったが、ランクを感じさせずに大いに盛り上がりを見せました。その模様の一コマを掲載しております。また、誰もが高齢になるにあたり考えさせられる話や西部地区の隠れた場所など大変興味深い原稿をいただきました。深く感謝いたします。さて、先日法事で函館に行き市電に乗り、卒業生が偶然にも卒業式を終えた大勢の西高生に出くわし、何と私も卒業して半世紀の歳月が流れようとした次第です。当時徒歩通学圈内でしたので、暑い日も寒い日も3年間あの坂を登下校した記憶が次々と走馬灯のように蘇って来ましたが、時代が流れ、街並みなどが変わろうとも思い出は色褪せないものだと思ふ感じがします。今年も是非同窓生相互の絆を深めていただければ幸いです。(堀田正英)